

二級水系  
流域治水プロジェクト

# 榎野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

山口県

○ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化する中、榎野川水系においても、流域全体でハード・ソフト一体となった事前防災対策を進める必要があることから、あらゆる関係者の協働により、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修
- ・河川浚渫
- ・準用河川・普通河川の適切な維持管理
- ・海岸保全施設の老朽化対策
- ・既存ダムの有効活用
- ・浸水対策施設の整備
- ・雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進
- ・砂防堰堤の整備
- ・水田の貯留機能向上
- ・森林の整備・保全及び治山対策

### ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・水害リスクを考慮したまちづくり
- ・防災まちづくりの検討に必要な情報の整備

### 防災拠点施設となる庁舎の建設【山口市】



### 【位置図】



完成イメージ



改修状況(榎野川)



### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知
- ・河川監視体制の強化
- ・防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達
- ・防災行政無線のデジタル化
- ・出前講座等を活用した防災教育の推進
- ・自主防災組織の育成や活動の支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進
- ・防災拠点施設となる庁舎の建設
- ・土のう等水防資機材の配備



雨水流出抑制施設設置補助制度【山口市】



浸水対策施設(ゲート)の整備【山口市】  
【施工前】 【施工後イメージ】



出水状況(平成21年7月)

凡例

	二級河川		流域界
	国有林		森林整備センター
	洪水浸水想定区域【計画規模(1/100)】		
	洪水浸水想定区域【想定最大】		
	洪水浸水想定区域図の公表済み区間		

※地理院地図に浸水想定範囲を追記して掲載  
作成：山口地域の県管理河川における大規模氾濫に関する減災対策協議会 流域治水部会  
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 榎野川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の工程で「流域治水」を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修	山口県	築堤工、護岸工、河道掘削工等		
		山口市	護岸工		油川
	河川浚渫	山口県	河川浚渫		
	準用河川・普通河川の適切な維持管理	山口市	計画的な河川浚渫、草木伐採		
	海岸保全施設の老朽化対策	山口県	浦辺海岸	継続的に施設の機能を保全	
	既存ダムの有効活用	山口県	ダムの事前放流等の実施		
	浸水対策施設の整備	山口市	施設の整備		
	雨水流出抑制施設設置補助制度の利用促進	山口市	補助制度の利用促進		
	砂防堰堤の整備	山口県	朝倉川1、西寺川	継続的な砂防堰堤の整備	
	水田の貯留機能向上	山口県、山口市	田んぼダムの検討等		
	森林の整備・保全及び治山対策	山口森林管理事務所 森林整備センター、山口県、山口市	森林の整備・保全、治山対策		
被害対象を減少させるための対策	水害リスクを考慮したまちづくり	山口市	立地適正化計画の運用・改定		
	防災まちづくりの検討に必要な情報の整備	山口県	多段階な浸水リスク情報		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知	山口県、山口市	作成・周知・利活用		
	河川監視体制の強化	山口県、山口市	山口県土木防災情報システムのリニューアル システム更新	簡易型水位計・河川監視カメラ等の整備・利活用	
	防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達	山口県、山口市	機能強化・普及・啓発		
	防災行政無線のデジタル化	山口市	R3整備	運用	
	出前講座等を活用した防災教育の推進	山口県、山口市	防災教育の充実・強化		
	自主防災組織の育成や活動の支援	山口県、山口市	率先避難体制の整備・地域防災力の向上		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進	山口県、山口市	避難の実効性確保		
	防災拠点施設となる庁舎の建設	山口市	山口市新本庁舎建設		
	土のう等水防資機材の配備	山口市	備蓄資材配備		

